

テーマ

興東館柳生中学校区のよさを知り、しなやかな感性を育む

目標

～ESDの視点を核にした環境づくりや体験活動～

今年の取組紹介 【ふれあい広場2015】

午前中は、興東館柳生中学校で興東小学校の子どもたちが興東ソーランと歌を、柳生小学校の子どもたちがエイサーと歌を発表しました。どちらの子どもたちも生き生きと楽しく踊り、歌も大変大きな声で体育館の隅々まで響き渡りました。中学生は統合した一年目でもあるので、自分たちの校区の紹介や伝統と歴史を劇で表現し、参加された地域の方々に感動を与えました。



午後からは、会場を奈良市野外活動センターへ移し、昼食後みんなでゲームを楽しみ大変盛り上がりました。その後中学三年生が、総合学習の時間に、地域の方々から学んだ地域伝統芸能の「大柳生太鼓踊り」を熱演し、大きな感動と歴史と文化の継承を地域の方々に与えました。



最後に、興東館柳生中学校の生徒会長二人が代表して、「小学校の仲間や地域の皆様との絆を大切にし、これからも充実した日々を積み重ねていきます。そして、この地に生まれ育った誇りを胸にこれからも進んでいきます。」との挨拶で締めくくりました。この取組を通して四つの地区が交流を深め、子どもたちが地域の中で生き生きと大きく成長していってくれと実感しました。



今年度のまとめ

【ふれあい広場2015】の取組から、子どもたちは、「たくさんの人々と触れ合いができたと思う。」「地域の方から、『良かったよ。』と言ってもらえたので嬉しかった。」「これからは太鼓踊りが受け継がれてほしい。」など地域の良さや地域への誇りを感じることができました。また、地域の方々も、「子どもたち同士お互いを思う心遣いが感じられた。」「小学生中学生全員ほんとに素直な子どもたちです。最大の誇りです。」「4地域が集う機会ができ、新しい友達との出会い地域の方々との触れ合いを深めていける一歩になった。」「地域のことを知る良い機会になった。」など行事を通して、地域を知り、地域への誇り、そして学校と地域の関係大切にしていこうとする気持ちがさらに強まりました。

来年度に向けて

今年の取組を継承し発展させていくために、地道な取組を今後も積み重ね、お互いを理解し立場を超えて協働する意義を確かめることを地域全体に浸透させ、地域ぐるみの取組としていきます。また、新しい人材育成、さらに地域が主体的に行事に取り組めるよう次年度に継承していきます。

テーマ

ESDに視点を生かした新たな学校づくり

目標

～歴史と自然に恵まれた環境の中で培う自己肯定感の向上を目指して～

今年度の取組紹介

・ふれあい広場2015

統合して初めての年。自分達の校区のすばらしさを、自分たち自身
が知ることが大事だと考え、旧興東中学校区、旧柳生中学校区の伝統、
歴史を見直すことにしました。

三年生は、地域の方々に、直接ご指導いただき、『大柳生太鼓踊り』
を披露いたしました。踊り手は伝統の衣装を身にまとい、一生懸命演じました。
一年生は『大柳生太鼓踊り』の歴史を劇で表現し、三年生が踊る本番の口上を、
全員で心を合わせ述べました。二年生は、柳生中校区に伝わる柳生宗巖と天狗
にまつわる「一刀石」伝説を創作劇で発表しました。



・水生生物の観察

興東館柳生中学校の麓を流れる白砂川は、蛍の観光地としても有名
で、水の美しさには定評があります。そこで地域の方々にご指導を仰
ぎ、元気よく生きる水生生物を観察しました。この川の水質階級はⅡ
で、蛍の餌となるカワニナやサワガニ等も見られ、初夏には川面を飛
び交う蛍のほのかな明かりで、幻想的な風景を楽しめます。生徒たち
はこの体験学習を通して、豊かな環境を保っていく学習を深めました。



今年度のまとめ

外部指導者による本物に触れる体験学習と地域資産や伝統文化などを学習することにより、生徒に
自信と地域への誇りを育むことを目指して取組み、その成果がみられました。【ふれあい広場2015】
への取組では、「伝統の大切さを理解してもらおうと地域のことを劇で発表しました。」「伝統あ
る『太鼓踊り』をクラス全員でやれたことを一生忘れないと思います。」など、地域の歴史と文化へ
の誇りとクラス全員の絆の大切さを感じることができ、【水生生物の観察】の取組では、「ホテルの里
カワニナたくさん いるおかげ」「清き水 白砂川に 誇り持つ」「きれいだな 僕のすんでる 町の
川」等の感想を俳句に表し、地域を知り、地域を大切にしていこうとする気持ちがさらに強まりました。

来年度に向けて

本物に触れる体験学習は、本校の少人数という機動性を生かして全校体制での取組ができました。
来年度もこの地域の豊かな自然や歴史などの特徴を生かし、地域ならではの取組をより一層積極的に
進め、あらゆる機会をとらえ、地域と連携し学校の存在感や活力をアピールしていきたいです。

テーマ

「いきいき・わくわく・元気な柳生っ子」の育成

目標

体験学習を通じ、柳生のよさや特色を知り、柳生を愛する子どもの育成**今年度の取組紹介****1、柳生らしさを体験的に学ぶ**

「剣聖の里」で知られる柳生では、子どもたちは、剣道を通して先人から柳生に引き継がれてきたことを体験的に学んでいます。春から竹刀を用いた木剣体操が始まります。秋の「第101回柳生地区大運動会」では、木剣体操を地域や保護者の方に見ていただきます。冬には、柳生剣友会や保護者のご協力で『第46回剣道大会』を厳寒の1月の末に行うことができました。子どもたちは剣道の稽古や試合を積むことにより、心・技・体は鍛えることができました。

**2、学んだことを発表した地域学習発表会**

地域学習発表会では、体験や見学させてもらったことを、地域や保護者の方々に発表しています。「十兵衛杉」「家老屋敷」「一刀石」「正木坂道場」等を訪れたことをまとめ、自分の感想を交え発表しました。各学年から学んだことを発表し、最後には、地域や保護者と「ふるさと」を一緒に歌い、絆を深めました。

**今年度のまとめ**

- ・剣道以外にも、「柳生焼き」「炭焼き」「闘茶」「茶摘み」「米づくり」等の柳生地域の体験活動を行いました。ふるさと柳生での地域見学や体験活動を行うことにより、どの子も今まで以上に自分たちの郷土を誇りに思う気持ちが強くなりました。
- ・柳生剣友会の方々にお世話になり、第46回の剣道大会を開くことができました。木剣体操や剣道練習といった年間を通した取組で、柳生の歴史を身をもって学ぶことができました。心身の鍛練や礼節等様々な力を身につけたことは、今後子どもたちの人生できっと役に立つと考えています。

来年度に向けて

- ・地域人材の更なる発掘や若い世代への協力を要請し、新しい取組も展開していきたいと思えます。そのために、本事業の計画や目標等を、学校便りやホームページ更新を継続して行い、保護者や地域の方々に伝えていきたいです。
- ・本年度、柳生中学校と興東中学校が統合になり、新しい中学校区で協力し合い、「ふれあい広場2015」に集うことができました。今後も、さらに連携を深めていきたいと考えます。

テーマ

つながろう興東 育てよう 興東ブランド

目標

地域の様々な人々とふれあい、地域との絆を深めよう

1. 今年度の取組紹介

地域の多様な人との出会いを大切にするとともに、地域の教育力を最大限に生かし本校教育を推進しています。なかでも“もち米作り”を昔ながらの農法で行い、米に関わる様々な体験学習を実施しました。田起こしに始まり、田植え、草取り、稲刈り、脱穀等収穫に至るまで、また、米作りから得られる副産物（藁等）を使って様々な活動を行いました。年間を通して地域の方々に支援していただく中で“しめ縄づくり”“門松作り”“大とんど”の活動も盛大に実施できました。農業は自然相手の活動でその年その年の気象状況に大きく左右され収穫に影響を及ぼします。そんな中で農業、科学技術、努力そして協力の大切さを知り感じることができました。米作りの副産物である藁を使っての“しめ縄づくり”では、地域民生児童委員の方々をはじめ、児童の祖父母、保護者の有志が一堂に会し、立派なしめ飾りを完成させる



ことができました。このしめ飾りを家に供え“大とんど”で青竹の火と共に収穫の感謝と今年の豊作を願って燃やす活動を催しました。また、地域で行われている農業・養蜂業の体験も行った。“養蜂農家での蜂蜜搾りと蜜蝋を利用したろうそくづくり”、という貴重な体験学習を行うことができました。これらの学習は地域の方の協力があった賜です。

2. 今年度のまとめ

柳生中学校区と興東中学校区が統合し新たに興東館柳生中学校区として取組を始めました。地域教育協議会との連携の下「ふれあい広場2015」の開催を含め、地域の方々の熱心な支援・協力のもと学校としての取組も順調に進めることができました。「お客さんがいっぱいいて緊張しましたが、精いっぱい踊ることができました。」という児童の作文からも、地域の思いや願いを知り、感謝の気持ちを表現し、学校に対する地域の方々とのつながりがさらに深まった様子がうかがえました。

3. 来年度に向けて

校区から得られる人の温かさ、地域の産業、伝統文化の再確認と伝承していくことの大切さを学び、郷土のことを誇れる児童に育てていきたいと考えています。今年まで行ってきた活動を地域と連携・協働し、人と人とのふれあいから生まれる豊かな心を大切にし、学校と地域の実情に合わせた取組を考えていくことによって、地域との絆をさらに強固たるものにしていきたいと思ひます。